

令和元年度

環境・生態系維持・保全活動等調査事業

漁民の森づくり活動等調査報告書

(海の羽根募金事業)

令和2年3月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

まえがき

この報告書は、沿岸部等 40 都道府県で令和元年度に漁業者が参加した森づくり活動(植樹、育樹など)のとりまとめをお願いし、その結果を集計したものです。岩手、宮城、福島 の 3 県には東日本大震災以降調査依頼を停止しておりましたが、令和元年度から調査に復帰して頂きました。

漁民の森づくり活動の目的の一つは森林土壌の健全化、これは森林崩壊や土壌流出の防止と換言できるかもしれません。今年の報告書には、光やシリカの重要性に加えて、森林土壌の健全化を阻害する要因について記載しています。シカの食害については以前のアンケートでは被害報告は少なかったのですが、森と海の生態系を理解する目的で報告書に記載しました。捕食者の役割の中でシカに対するオオカミの記述があります。シカ食害には農山村の過疎化など生態系以外にも多くの要因が挙げられます。一方で一つの要因が主要かどうかを考察することは問題解決のために重要なことです。例えばニホンオオカミ最後の捕獲記録は 1905 年(明治 38 年奈良県)で、シカ食害が問題化するのは 20 世紀末と時間差が 90 年程あります。他地域では 100 年以上の時間差があったと考えられます。このことからシカ食害とオオカミ絶滅の関係の強さを他の要因と比べてどう考察すべきでしょうか。報告書では「種々の考察があるが、科学的な情報に基づく適切な対策が待たれる」と結んでいます。

後半は漁民の森活動の実績です。今年は植樹活動を通じた他業界との交流について調査しました。

この報告書が、漁民の森づくり活動の一助となれば幸いです。

令和 2 年 3 月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

漁民の森づくり活動に思う～複雑化の傾向～

文責 漁民の森づくり活動調査委員 井上祥一郎

はじめに

漁民の森づくり活動に関わってから 20 年近くが経過する。地方の国立大学の農学部林学科(造林学研究室)を卒業後、数十年経過した頃、ヘドロ処理技術の習得機会に恵まれ、水産部門(科目:増養殖)の技術士に登録した。水産部門の他、森林部門、農業部門の登録もあるところから、第一次産業系の技術に通じていると認めて頂いたようで、この活動の調査委員を長年務めさせていただいている。

調査委員としての筆者のスタンスは、海の生態系ピラミッドを支えるのはケイ藻類との主張である。それをもとに漁民の森づくり活動について、ケイ藻をキーワードにして関連を考えてきた。具体的には、ケイ藻に必須ではあるが、渦鞭毛藻、藍藻類は必要としないシリカ(ケイ素、ケイ酸ともいう)を、窒素・リンと同列に重視すべきという、いわゆる、“シリカ欠損仮説”論を、活動の中で共有できると自問自答してきた。

技術者なので、シリカ供給の方法論への好奇心は強い。先に挙げたヘドロの処理技術にも、シリカ供給機能が含まれている。健全な森林土壌が河川、湖沼や地先海域へのシリカ供給上極めて重要で、同時に下流域にシルト・粘土など無機物の濁りの基を流さないことでもあるということが、漁民の森づくり活動での一般論として成立することが私の希望であった。あったと過去形にしたことが、今回の話題提供に繋がってくる。

森林土壌の健全性について、従来の方法論が成立しない状況が、“シカによる森林荒廃”や“線状降水帯による洪水の多発”によって顕在化してきた。これらの状況を漁民の森づくり活動はどのように受け止め行くか？ 将来に“複雑化”に対応しなければならない時代になったと思うのである。

まずは鉄、シリカと水産についての復習から始めたい。

1. 鉄とシリカとケイ藻

地先海域における有害赤潮や、二枚貝の貝毒、殺貝毒の発生には、主として渦鞭毛藻類が関係する。淡水湖沼、汽水湖に発生するアオコは藍藻であり、共に非珪藻類である。これらは全てクロロフィル a を持つので、調査結果においてクロロフィル a が多いからと言って、水族の生態系ピラミッドを支えるケイ藻類が多いとは限らない。

鉄が葉緑素、クロロフィルの合成に欠かせないミネラルということはよく知られた事実で、そこからフルボ酸鉄の重要性が指摘されてきた。鉄は土壌中に4～5%存在するが、酸素があると酸化鉄になって不溶化して微細藻類が使えない形になる。それに対して森林や水田で生成される腐植に含まれるフルボ酸は、キレート作用を持つので鉄と出会うとフルボ酸鉄という、植物である微細藻類にも使われやすい性質を維持し有効に利用される。森はこの貴重なミネラルの供給源であるので、漁民の森づくり活動の意義付けの説明に使われている。

ケイ藻類の体を構成する物質の比率はレッドフィールド比で示される。ケイ藻の体の鉄はリンを1とすると、モル比で0.001と微量である。因みに窒素は16とされる。酸素がある水中では、鉄は酸

化されて不溶化し、溶存鉄の存在量は少ない。この僅かしかない使える鉄を、上手く利用する仕組みが作られたことがレッドフィールド比で分る。ただ、農業では作物に対する鉄の過剰害が知られており、沢山在れば良いというものでも無いようである。

これに対してシリカは15～50といわれ、土壌中に数十%と潤沢にあることで、ケイ藻の必要とする体構成量も大きい。しかし、潤沢にあることから進化の道程で、鉄のように大切に使う工夫は不要だったと思われる。また、シリカは農作物に対して過剰害がないことも知られている。地殻を構成する最も多い元素は酸素で、酸化物として存在する。シリカは2番目で、シリカの過剰害を受けない生物が生き残った結果と考えられる。

窒素・リンの濃度が低い水中では、藻類の生産はそれに制限され、シリカを必要とするケイ藻が優占しても、溶存シリカは大量に残存しつつ、ケイ藻の優占状態を維持する。即ち、餌料の多い豊かな水圏の持続に寄与する。

しかし、ダムなどで淡水の滞留時間が長期化すると、淡水性珪藻類の増加によるシリカの消費によって、溶存シリカは減少し、その量に因っては下流の内湾などで渦鞭毛藻類など非ケイ藻が優占する水質になる。この現象を「シリカ欠損仮説」という。

鉄と異なり、節約して使う必要の無いシリカは、水中にレッドフィールド比が示す必要比率あれば良いということではなく、レッドフィールド比以上の濃度がなければならないというものである。

ケイ藻は溶存状態のシリカを、固形のガラス殻にして利用するので、枯死してもすぐにシリカは解け出てこない。従って溶存シリカがレッドフィールドを超えて潤沢にあることが、年間を通したケイ藻の優占状態維持の条件になると考えられる。二枚貝などは夏季の1ヵ月間でも餌に適さない非ケイ藻類の微細藻類が優占すると、体力が低下してへい死する可能性が高くなると認識する必要がある。

浜松市の佐鳴湖では、ヤマトシジミが夏を越せないという報告があり、一般には原因は高水温と考えられている。一方、ケイ藻ではない非ケイ藻類の優占が関係するという報告もある。かつての佐鳴湖は、水面が盛り上がるほどの大量の湧水があったと言われ、蜆塚遺跡の大量のヤマトシジミ貝殻の集積に当時の環境が偲ばれる。湧水が潤沢な溶存シリカをつい近年まで供給し続けていたのである。

シリカは雨水には殆ど含まれていない。このシリカが湖沼や内湾に供給されるのは、雨水が森林土壌中に豊富にあるシリカを溶かし込んで、伏流水や湧水として下流域に供給する。しかし、食糧自給率が低下するに従って海外から食材として持ち込まれる栄養塩類、特に窒素・リンが増大した。シリカは食材には殆ど含まれない。その結果、増えた窒素やリンに対してシリカの相対的不足を招いた。それが地先の海の渦鞭毛藻類や湖沼での藍藻の優占に繋がったと考えられるのである。

シリカは風化等の自然の仕組みで供給されるので、窒素・リンとは異なり、人為的活動の影響を受けないとの説明が良くなされる。炭酸ガスが溶け込んで弱酸性になった雨水が、岩石等に接触することでシリカが溶解するというのが、物理・化学的な風化である。この他、微生物風化と呼ばれる生物が関与する風化も知られるようになった。その一つが雨水の森林土壌への浸透によるものである。ところが、間伐遅れの人工林などでは、表層土壌の流亡が起き、浸透量が減少する。当然、地下水量が少なくなり、湧水も減ってシリカ供給は低下する。

市街化による浸透面積の減少も同様である。近年、近郊で休耕地等における太陽光発電施設

の設置が盛んになっているが、雨水浸透の面からは大きな問題である。また、メガソーラーと称して、斜面の林地を伐開し、太陽光パネルを広面積に設置している光景も珍しくなくなってきた。

これらのことから、シリカ供給は、人の活動の影響を少なからず受けることが分る。ダムによる溶存シリカの減少も知られていて、ダム湖で発生するケイ藻増殖も原因とされている。多摩川水系の小河内ダムでは10数パーセントの減少というデータが示されている。これらの人為的なシリカ供給の減少行為は、水産人から言えば水産軽視と声を上げたいものである。

我が国の森林率は70%に近い。その内、人工林率も高い。人工林でも林分管理が適正に行われている林地の雨水浸透能は、広葉樹林の方が優れるが大差はないとされている。

2、漁民の森づくり活動の複雑化要因

漁民の森づくり活動は、当初は無立木地への植樹から始められた。新植適地が少なくなるに従い、下草刈り、除伐という維持管理活動に移行してきた。一方、間伐遅れの未手入れ人工林は、活動に危険が伴うこともあり、漁民が積極的に行うことは難しい。ここは林業の専門家に任せるとしたが、間伐材の需要が増えないと実効が伴わない。

造林研究室出身の筆者にできたことは、芯持ちの10cm角材を多用する、“千本柱の家(商品名)”を、長野県と島根県に建てたこと程度である。島根の小屋は10坪と狭いが、10cm角3m材を600本使っている。筆者の健全な森林土壌づくりへの細やかな貢献は、間伐材を建築材料として高密度に利用できることのPR活動であった。

ところが、最近の森林土壌の危機は、シカによる急速な食害面積の増加である。最近は山に入ることはないが、“21世紀奈佐の浜プロジェクト”というNPO活動で、三重大大学の演習林近くで植樹をしたことがあった。広葉樹の苗木をシカ除けの網を被せて植栽したのだが、それでもシカの食害を防ぐことはできないとのことであった。

漁民の森づくり活動や間伐を多用する住宅の普及等で、森林土壌の健全化を図るには、シカの食害防止が前提条件になった感がある。食害で枯損した林地は、土壌浸食に見舞われる。土壌浸食面積が増えれば、近年の“線状降水帯”による集中豪雨被害が、過去より甚大化する恐れは十分にある。土壌の流出は下流へのシルト・粘土の流出も増大させる。「濁水に挑む」「流域は一つ」は、矢作川流域の市民活動の合言葉であるが、濁水の増加は、海への影響が大きい。

以上のことから、漁民の森づくり活動が複雑性を抱えることになったという認識をお持ちいただけたと思う。今の時点で、漁民の森づくり活動を実践されている皆さんと、どのような共通認識を持ったら良いのか？以下に話題提供をしておきたい。

3、「水清ければ魚棲まず」の本質は？

1960年頃より窒素・リンの過剰による富栄養化で、地先海域における有害赤潮や、青潮(貧酸素化⇒硫化水素発生⇒硫黄粒)による水産資源の減少が問題になった。ところが近年は下水道施設等で、窒素・リンが過剰に削減されたので地先海域が貧栄養化し、餌不足で水揚げが減った、窒素・リンの供給をお願いしたいとの要請が行われるようになった。水産の研究者も「水清ければ魚棲まず」と発言するようになった。

この言葉から市民が受ける印象は、湖沼や内湾では透き通った状態より、濁った状態の方が魚

が良く獲れて好ましい、と受け取られるのではないかと危惧する。海藻学者の故横浜康継さんの名言に“光はご飯”がある。光がある程度以上ないと、一次生産に支障が出ることを端的に表現されている。

3-1 レジームシフト

富栄養化問題が取り上げられたときに、“レジームシフト(生態系の構造変換)”という専門用語が盛んに使われた。この学説の始まりは、水産研究者の川崎健さんが1983年に発見した、世界のマイワシ漁獲量の同期した変化であった。日本各地の気温や降水量が1950年頃一斉に変化した“気候ジャンプ”の研究があり、この二つが結び付いてレジームシフトという概念が生まれたという。

分かり易い説明が少ないが、「生態系を取り巻く環境は緩やかに変化したとしても、生態系の状態が急激に変化することがある。またこの遷移は不可逆であり、いわゆる履歴現象を示すのも特徴である。生態系レジームシフトは、生態系がある環境下では複数の安定した状態が同時に存在し、それらの間を生態系が遷移して生じると考えられる。(1A09)」を見付けた。出典は学会発表の要旨集のようで、表題は「琵琶湖における循環と物質輸送－富栄養化によるレジームシフトの可能性－」である。私の理解は緩やかな変化が続いている中で、何らかの切っ掛けで急激に変化する現象とした。

窒素・リンの緩やかな増加が進んでいたある時、突然富栄養化現象が起きた。では、貧栄養化から削減し過ぎた窒素・リンを緩やかに増大させる過程で、漁獲の回復はどのような条件で起きるかの検討が必要ではないかと思う。富栄養状態から窒素・リンを徐々に削減してきた歴史があるので、その記録をたどれば、どの時点でどのような漁獲の回復があったのかが分かるはずである。これは貧栄養化対策の検討に当たっての重要なデータになると考える。単に窒素・リンの削減を緩和するだけで良いとの結論にはならないと思われる。専門家がこのような検討をされているかどうか、先ず、聞き取りをしたいところである。条件の中にシリカを入れることも期待したい。

3-2 沿岸透明度。

濁りの元は、無機質のシルト・粘土によるものもあれば、植物プランクトンによるものもある。そのどちらであっても湖沼や内湾の透明度は低下する。数メートル以下の浅い底質に生活する付着微細藻類や、沈水水生植物にとってご飯の量が足りなくなるのである。

数年前から“新たな水環境基準(透明度、底層DO等)”の検討が行われてきた。底層DO(溶存酸素)については、よく知られていると思うので、DOについては下限数値だけでなく、過飽和についても検討して欲しいとの意見だけ書いておく。

透明度、人々が水圏に接する地点が水辺であることを意識して“沿岸透明度”と呼ばれる基準について考えたい。清い水と沿岸透明度をつなぐことで、漁民の森づくり活動者の方達の思考整理に役立てば幸いである。沿岸透明度の目標設定ガイドラインによると、目標値設定の趣旨は、地域における水環境に係る課題を抽出し、地域の関係者の合意形成を条件とした沿岸透明度の目標設定を行う。次に、現地における測定、評価を経て、地域毎の望ましい水環境の実現を図るとされている。

以下、当ガイドライン(概要版)から引用する。

「“透明度”とは、水の透明さを表す指標である。透明度は、海域及び湖沼に生息する水生植物に必要な水中光量(水中へ届く光の量)を左右する要素であり、透明度が低ければ水中光量が少

なくなり、海藻草類及び沈水植物等水生生物の光合成が妨げられる。その結果、水質浄化、生物の生育・生息機能が働かなくなり生態系の劣化につながる。また、透明度は親水利用に大きく関わっており、水の濁りにより透明度が低下すると、水辺空間の景観は損なわれ、水辺の親水機能は低下する。」

「沿岸透明度は、地域の状況に応じて望ましい目標値に一定の幅があると考えられることから、政府が一律に定める環境基準としてではなく、地域の合意形成により地域にとって適切な目標として設定される地域環境目標とすることが適当とされた。」

とあり、全国一律基準を避けている。また目標値の設定には答申で示された関係式を提示している。海藻草類については次表が示されている。

種名	年間平均透明度と分布下限水深の関係
アマモ	年間平均透明度＝0.95×分布下限水深
アラメ	年間平均透明度＝0.83×分布下限水深
カジメ	年間平均透明度＝0.64×分布下限水深

目標値を維持する上流の森づくりが新たな意義を持つようになると考えられる。

3-3 シカの食害

近年、シカの食害による林地の荒廃面積が増えているという。漁民の森活動のアンケートではこれまで“あり”の情報はないと思われるが、林業関係者の中では喫緊の課題とされている都道府県が多い。原因についての考え方には二通りあり、シカの餌が潤沢なので増加しているのか？シカの捕食者がいないので減らないのか？つまりボトムアップ型かトップダウン型かという問題である。

これまで水産関係者は、水産物の生産は食物連鎖によって決まってきたと考えてきたと仮定する。つまり、植物プランクトンが多くなると、漁獲の増大にはならないという考え方である。これに対して、ウィリアム・ソウルゼンバーク著、野中香方子訳“捕食者なき世界”（文藝春秋刊2010）では、捕食者の存在の重要性を焙り出している。

海での例として、ヒトデがキーストーン種のイガイ群落との関係、ウニがキーストーン種のアサギのジャイアントケルプ群落の関係に続いて、ラッコとウニと昆布の関係、ラッコを襲うシャチとの関係等が綴られている。漁業に関係する次の文章もある。

「大規模な捕鯨は20年で破綻したが、その間、50万頭の大型クジラがアリューシャン列島海域とベーリング海南部で捕獲された。恐らくクジラの肉が食べられなくなったせいで、シャチは小さな生物に目を向けた。」

まとめとして、「商業捕鯨が60年間にわたって、食物連鎖の6要素、一クジラ・シャチ・トド・ラッコ・ウニ・ケルプの森ーにもたらした生態学的連鎖反応」とした。

また、陸上に舞台を移して「大型肉食獣は、世界中の生態系に存在します。少なくとも、かつては存在しました。大型肉食獣が重要かどうかは、生態系を調整する力がトップダウンの方向ではたらくか、あるいはボトムアップの方向でかかるかによって決まります。もしボトムアップの調整がそのすべてなら、上位にいるものはどうでもよくなります。けれども、トップダウンの力が重要なら、肉食獣は大きな意味を持つことになります。その影響は、食物連鎖の最下層にまで及ぶでしょう。」

シカの問題もこの中に含まれるように思われる。日本の研究論文では「動物がどれだけ存在でき

るかは、その動物を支える資源量で決まるものである。まず資源量によって概数が決まり、その上で捕食・捕獲圧が微調整するというのが実際のところだろう。人はどうしても捕食とか狩猟とかダイナミックな出来事の印象を強く受けてしまい、より重要な資源の質・分布・量を軽視するくらいがあるようだ。」との記述(北大:揚妻直樹『シカの生態系破壊』から見た日本の動物と森と人』2010)がある。

前出の“捕食者なき世界”では、シカの過剰増殖に捕食者オオカミが果たす役割を、「オオツノヒツジは、その環境で個体数を維持できるように進化してきたはずだが、その平衡状態を保つには、オオカミのような環境からのストレスを必要としているのだろう。」(p.201)と述べている。

漁民の森づくり活動に関連する新たなシカ問題は、森と海の生態系の理解を否が応でも必要としている。前述の通り、種々の考察があるが、科学的な情報に基づく適切な対策が待たれる状況である。

3-4 ダムとの共存

漁民の森づくり活動への参加者は、ダムに対してその効用を自ら話す人は少ないように感じる。筆者もそうであった。ところが、近年のゲリラ豪雨、気象学では“線状降水帯”(予報用語:次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした組織化した積乱雲によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される線状に伸びる長さ 50~300 km 程度、幅 20~50 km 程度の強い降水を伴う雨域)における山腹崩壊、河川の増水、それに伴う大量の流木の発生を見ると、ダムの効用に目を向けざるを得ない。ダムの限界を超えれば、それを上回る大災害に結びつくことは必至ではあろう。

たまたま、日経コンストラクションが編集した虫明功臣・太田猛彦監修の「ダムと緑のダム」(日経 BP2019)を入手した。帯封には『異常気象はもはや異常ではない』気候変動で増える複合型水災害にダムと森林が手を組む!』とある。口絵の写真を見ただけで、人間の非力さが伝わってくる。

漁民の森づくり活動の舞台に付けられた自然の爪痕には慄然とする。一方で、漁民の森づくり活動に災害の視点を持つことの必要性が強く感じられた。それはダムという巨大構造物の他に、打つ手がない訳はないという思いである。森林にもダムにも限界はある。大量の土砂の濁りも、流木も漁民に与える影響は大きい。まずは、これらの危険を知り、伝えることから始めたい。

おわりに

これまでの漁民の森づくりは、新植、手入れ作業が中心で楽しい活動であった。しかし、線状降水帯発生による豪雨災害、シカの急増による森林荒廃、漁獲が激減している貧栄養化など、避けて通れない問題が山積している。この中で、モチベーションを上げて漁民の森づくり活動を継続するには、新たな問題に対する理解から始める必要を感じた。そこで、今回はそれらに対する話題提供に紙数を費やした。少しでも関係者の参考になれば幸いである。

漁民の森アンケート結果

令和元年度のアンケート結果は、128 か所の活動報告を取りまとめたものである。植樹活動では50種類程度（針葉樹10種以上を含む）の樹種が使用されていた。参加人数はのべ1万人以上、作業本数は4万8千本程度であった（下刈りなど含む）。表1から作業別で見ると、植付けと答えた回答のうち、北海道からの回答が60%程度を占めていた。下刈りは北陸・中部・近畿、九州、地ごしらえは北海道に多かった。その他には消毒、チップ敷き、ごみ拾い他清掃があった。

昨年と比較すると、樹種数は10程度減少し、参加人数は、作業（植樹）本数はあまり変わらなかった。それぞれの植樹活動の場所については巻末の地図及び表を参照されたい。

表1 地域ごとの作業種類の回答数（複数回答）

	植付け	下刈り	地ごしらえ	つる切り	枝打ち	間伐	その他
北海道	58	10	25	0	0	0	0
東北・関東	12	8	5	1	0	1	2
北陸・中部・近畿	10	10	2	4	2	1	4
中国・四国	7	5	1	0	2	1	1
九州	8	14	0	1	1	1	0

1. 漁民の森づくり活動で使用された樹種

活動に使用された樹種上位10樹種について図1に示す。

昨年度に引き続きミズナラ（29か所）が最も多かった。これは活動数の多い北海道で多く利用される樹種（ミズナラは北海道で24か所）で、その他の樹種は、広範囲で使用されている樹種である。

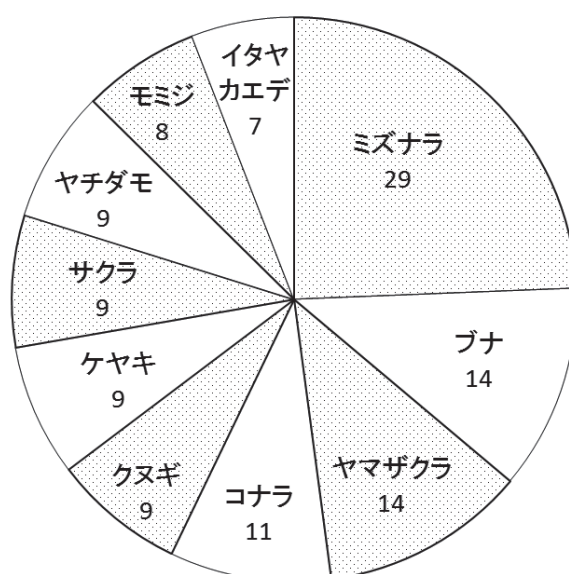


図1 全国の植樹活動で多く使用されている上位10樹種
(活動数であって、本数ではない)

各地域で使用されている樹種について図2に示す。

北海道ではミズナラが最も多く 24 ヶ所だった。本州以南でみると東北・関東ではブナ、コナラ、ミズナラ、北陸・中部・関西ではコナラ、サクラ、ブナ、中国・四国ではヤマザクラ、モミジ、九州ではヤマザクラ、モミジが多く使用されているようである。使用された樹種は北海道 27 種、東北・関東 18 種、北陸・中部・近畿 11 種、中国・四国 11 種、九州 13 種であった。

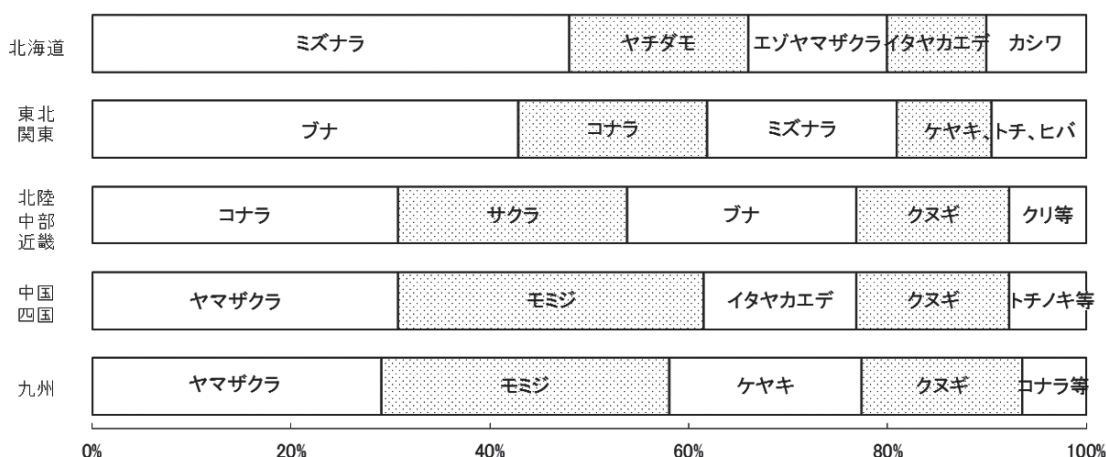


図2 各地方で植樹活動で使用する上位5樹種(活動数であって、本数ではない)
東北関東のケヤキ、トチ、ヒバは同活動数のため3種記載した。

2. 漁民の森づくり参加者の漁業種類 (複数回答)

図3に漁民の森づくり参加者の漁業種類の割合について示す。

活動に参加者した漁業者の漁業種類で見ると、漁業種類が一種の場合と複数の場合の割合は3:8であった。図3から、参加者の漁業種類の割合をみると、定置・建網 18%、次いで、刺網・流し網、延縄・潜水・船曳、採藻、採貝が 10~13%であった。魚類養殖、貝類養殖、藻類養殖を合計した養殖業全体だと 17%を占めていた。

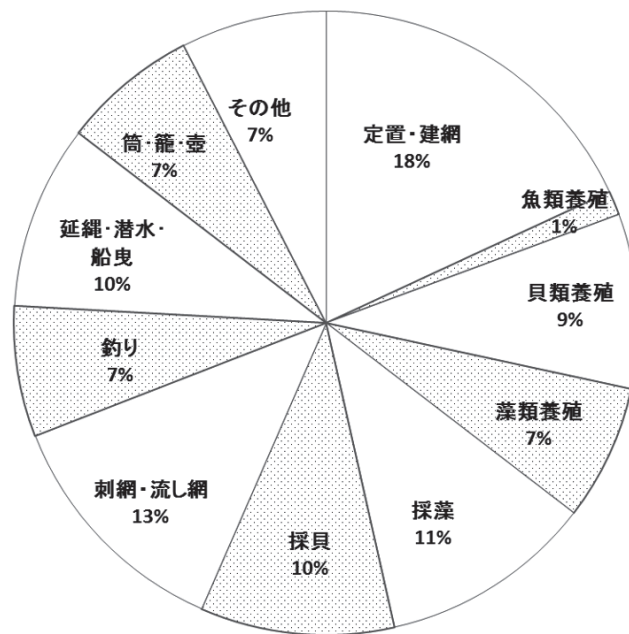


図3 漁民の森づくり活動参加者の漁業種類(複数回答)

3.令和2年度以降の漁民の森づくりについて

図4に来年度以降の漁民の森づくりの予定について示す。

来年度以降の予定で見ると、「植樹の他、下刈り等管理にも力を入れていく」が最も多く30%、「植樹はほぼ済んだので、下刈り等管理に力を入れていく」を加えると50%を占め、植樹活動内容の中心が管理作業に移行していると考えられる。その他では、実施予定地の状況を踏まえ検討中、食害対策の柵作り、植樹以外の水域環境保全活動といった回答があった。

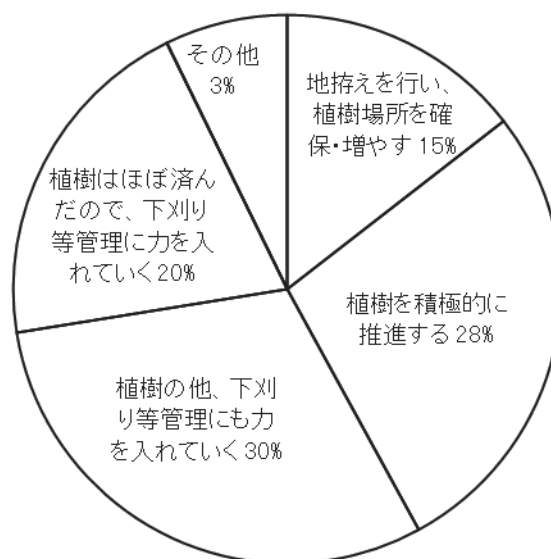


図4 令和2年度以降の漁民の森づくり作業予定について

4. 漁民の森づくり活動に携わる参加団体の構成について(複数回答可)

植樹の他に取り組んでいる沿岸環境保全活動について質問したところ、「その他」が31%と最も多く、海浜清掃団体の参加がある、漁業者の参加減少、他団体の活動に共催として参加、部会から実行委員会として参加などがあつた。次に「様々な団体が参加し、まち（都道府県、市町村）全体のイベントに広がった」が17%、「漁協女性部や青壮年部などで始まったが、漁協・漁連職員も参加するようになった」が14%であつた。

表2 漁民の森づくり活動に携わる参加団体の構成について(複数回答可)。

当初から漁協女性部や青壮年部などが単独で森づくり活動を実施している	12%
漁協女性部や青壮年部などで始まったが、漁協・漁連職員も参加するようになった	14%
様々な団体が参加し、まち（都道府県、市町村）全体のイベントに広がった	17%
開始当初に比べて、森づくりの参加団体数が増えている	13%
開始当初に比べて、森づくりの参加団体数が減っている	13%
その他	31%

5. 漁民の森づくり活動に携わる参加団体との交流について(複数回答可)

作業を完了した植樹地の活用について質問したところ、「この活動以外に、参加団体間の交流はない」が 37%と最も多く、次いで「その他」23%、「漁業団体のイベントに他参加団体が参加」が 16%、「漁業団体が他参加団体の出前授業に呼ばれたことがある」が 10%であった。「その他」には森林組合の方に協力してもらっている、他の青壮年部との交流ができている、山間部との交流といった回答があった。

表 3 漁民の森づくり活動に携わる参加団体との交流について(複数回答可)

この活動をきっかけに、漁業団体の清掃活動に他参加団体が参加するようになった	9%
この活動をきっかけに、漁業団体のイベントに他参加団体が参加するようになった	16%
この活動をきっかけに、漁業団体が他参加団体の出前授業に呼ばれたことがある	10%
この活動をきっかけに、漁業団体が他参加団体の活動に参加するようになった	5%
この活動以外に、参加団体間の交流はない	37%
その他	23%

6. 植樹場所と海岸の距離

植樹場所と海岸の距離を見ると近い所では 1km 未満、最も遠い場所は海岸から 67km という回答があった。40km 以上離れている活動が 10%、1km 未満の活動が 10%、多くは海岸からの距離がおよそ 1km から 15km の範囲で行なわれていた。回答数 39

7. 漁民の森づくり活動の内容について

各地域の具体的な活動内容を以下に示す。

北海道	女性部が主体となり、植樹を実施。また、イベントと連携して植樹の大切さをPRする。
青森県	＜東通村緑化推進委員会、東通村水産振興推進協議会＞ 平成26年度から下北森林管理署管轄の国有林内植樹場所の提供を受け、地枿等々は東通村森林組合、植樹作業は漁業関係者で実施している。
	＜佐井村＞ 植樹、地枿、下草刈り、植樹場所の確保
	＜川内町漁業協同組合＞ 豊かな水産資源の持続的恩恵が受けられるよう、地域活性化に資する水産資源を育み、漁場環境の保全に繋げるため、ブナやナラの広葉樹の植樹を行った。2019年は、むつ市制施行60周年を迎えたことから、むつ市の木であるヒバを併せて植樹した。ホタテ養殖残渣を堆肥化したものを施肥として、植樹した苗木の周辺に一部散布し、その後の生育を調査していきたい
	＜蓬田村漁業協同組合＞ 平成13年にブナを植樹や下刈りをする事により海へ流れ出る水をきれいにし、ホタテガイの成長を促す活動を行っている。
	＜平内町漁業協同組合＞ 平内町（東田沢地区）においてブナ300本を植樹するため下刈りから間伐等を森林組合にお願いして行い、ホタテ養殖漁業者自らが植樹している
岩手県	＜田老町漁業協同組合女性部＞ 海の荒廃を危惧した田老町漁協女性部が、平成5年に田老川の水源地である青倉山にコナラ120本を植樹して活動をスタート。以来、東日本大震災で中止した平成23年を除き、継続して実施している。 当初、婦人部のみの活動だったが、回を重ねるたびに賛同者が増え、現在は参加者100名を越える地域の一大イベントとして定着している。 この活動は、平成9年「全国豊かな海づくり大会」漁場環境保全の部で農林水産大臣賞を、平成12年には第5回全国青年・女性漁業者交流大会で農林水産大臣賞を受賞するなど、高く評価されている。

	<種市ウニぷろじえくと> 品質の良いウニを育てるためには、豊富な滋養分を含んだ水が山から安定的に供給されることが望ましいことから、ウニ生産者や海づくり少年団による広葉樹の植樹及び手入れを行い、森林の水源保全機能を保全し、将来にわたってウニ生産に良好な環境を形成することを目的に活動している。
宮城県	<牡蠣の森を慕う会> 「森は海の恋人」植樹祭へは、開始当初から漁協女性部として参加している。主催者側ではなく、参加者という立場である
秋田県	<NPO 法人白神ネイチャー協会> 世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確実なものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげる。
	<鳥海山にブナを植える会> 1 植樹（地ごしらえ）、2 植樹後の手入れ（追肥、下刈）、3 育苗（種取、苗圃への移植、草むしりなど）、4 自然観察、5 講演会
山形県	<魚の森づくりの会 鶴岡市（油戸魚の森づくり活動）> 漁業関係者や市民等の協働活動により、良好な漁場環境を支える豊かな森づくりを推進する。 <堅苔沢魚の森づくりの会 鶴岡市（堅苔沢魚の森づくり活動）> 「森・川・海」のつながりを考えながら、身近な山に木を植え育てる森づくり活動を漁業関係者、地域住民、将来を担う子どもたちと一緒に活動することにより、環境保全への関心を高め、地域住民を主体とした協働による森づくりを推進する。 <ねずがせき魚の森づくりの会 鶴岡市（ねずがせき魚の森づくり活動）> 漁業関係者や地域住民等の協働活動により、良好な漁場環境を支える豊かな森づくりを推進する。

新潟県	<上越市桑取川魚の森づくり推進協議会> 7/5、下草刈りや蔓切り等の森林保育活動を実施。参加者：上越市漁協、桑取川漁協、くびき野森林組合、上越市（計40名） 10/5、下草刈りや蔓切り等の森林保育活動と、散策道へのチップの敷均しを実施。参加者：上越市漁協、桑取川漁協、くびき野森林組合、えちご上越農協、地元町内会、地元小・中学校の児童・生徒・保護者、新潟県漁連、信漁連、県水産課糸魚川駐在所、一正蒲鉾㈱、国際石油開発帝石㈱、上越市（計146名）
	<谷根川さけの森づくり推進協議会> 「海の快適な環境を形成する源泉は豊かな森にある」を基本構想とし、谷根川（たんねがわ）流域をさけの森として整備・保全を継続し、後世に引き継ぐことを目的として植樹及び苗木の保育作業を実施している。
	<さけの森林づくり推進協議会> 平成11年度より三面川に携わる関係団体等を構成員として「さけの森林づくり」活動（森林は、緑のダムといわれているように森林のもつ公益的機能が注目されています。しかしながら、近年は自然の調和が損なわれ、大気汚染・水の汚濁・緑の消滅など、自然における生物共存の諸条件がいたるところで破られ、憂慮すべき現状となってきました。こうしたことから、「快適な環境を形成する源泉は、豊かな森にある」という基本認識の基に、三面川流域を「さけの森林」として整備・保全を促進し、後世に引き継ぐことを目的としております。）をはじめています。活動は構成員（林業関係の国県市の行政機関や漁協、緑の少年団等）でナラの稚樹の植樹、下草刈を行い、昼食に鮭汁を提供しています。今年は活動場所への道路が災害により通行不可となったことからやむなく中止となりました
富山県	<氷見市水産多面的機能発揮対策協議会> ・流域における植樹活動 5/17 植樹地区の現状把握のため下見 6/24 植樹の下準備作業 6/25 森林組合より説明・指導のもと植樹 9/20 植樹地区 下草刈りの現状把握のため下見 10/3 植樹地区 下草刈り 苗に目印後 苗の周りを鎌で刈取り作業 10/11 植樹地区 下草刈り 大鎌等、草刈機で刈取り作業” ・流域における植樹地の草刈り

	5/17 植樹地区の現状把握のため下見 6/24 植樹の下準備作業 6/25 森林組合より説明・指導のもと植樹 9/20 植樹地区 下草刈りの現状把握のため下見 10/3 植樹地区 下草刈り 苗に目印後 苗の周りを鎌で刈取り作業 10/11 植樹地区 下草刈り 大鎌等、草刈機で刈取り作業”
石川県	<クリーン・ビーチいしかわ実行委員会> 植林によって森を復活させて森と川と海の健全な関係を取り戻し、漁業生産や養殖などの豊かな漁業資源回復に寄与するのが目的です。平成15年から植林活動を開始して、令和元年で延べ2439人が参加し、植林本数は5,298本になりました。4年前から森の整備に目を向け、育樹活動を開始しました。今回も繁茂し過ぎた山林の雑木の枝打ちをし、森に光を入れ木々がよりよく育つよう活動しました。枝打ち後、活動場所のくぼ地を見ると、光が底の方にまで差し込み、森の中が明るく見えました。参加者らも「わずかだと思ったが、効果があるものだ」と口々に述べていました。
福井県	<越前町漁民の森を育てる会> 一年に2回を目標に、地元の四ヶ浦小学校の高学年20名前後の児童と先生と共に漁業者が協力し合い、草刈りと補植を行い、海を守るため森を守り、育てています。
愛知県	<中部森林管理局愛知森林管理事務所> 平成14年度から蒲郡市漁協青年部連絡協議会等の漁業関係者が、NPO法人穂の国森づくりの会、中部森林管理局愛知森林管理事務所、蒲郡市、愛知県と連携して、三河湾への流入河川である豊川及び矢作川の水源となる段戸国有林（愛知県北設楽郡設楽町）において、毎年継続して森林づくり活動を行っており、将来の水産業を担う三谷水産高等学校の生徒も参加している。令和元年度は、10月1日（火）に蒲郡市漁協青年部連絡協議会等の漁業関係者14名、三谷水産高等学校関係者約40名をはじめとして、NPO法人穂の国森づくりの会、蒲郡市、愛知森林管理事務所、愛知県東三河農林水産事務所の関係者など、総勢約80名が活動に参加した。参加者は、午前に、ブナやナラ類などの広葉樹の成長を妨げる周辺のシロモジ等の除去作業を行い、午後には、段戸裏谷原生林の自然観察を行った。

三重県	<三重県漁業協同組合連合会> 10月19日（土）、岐阜県白川町の笹平高原にて森林整備活動を実施予定であったが、台風の影響にて荒天となった為、安全面を考慮し、中止となった。
滋賀県	<中主漁業協同組合、野洲市農林水産課、びわ湖の水と地域の環境を守る会> 漁業者と一般の方々による植樹活動。一般の方々（特に子供）に参加を呼び掛け、琵琶湖保全のための森づくりの重要性を認識してもらうように努めている。
京都府	<京都府漁業協同組合> 平成13年度～17年度までは3.4ヘクタールに広葉樹約3,500本を植樹し、平成18年度以降は下草刈りなどの活動を実施している。しかし、令和元年度は、実施予定地が工事中で立ち入り禁止のため森づくり活動を中止した。 令和2年度以降については、実施場所を再検討し、森づくり活動を再開する予定”
兵庫県	<（一社）淡路水交会> 漁業者による森づくりを進め、そこで生じる除・間伐材をアオリイカ産卵床造成に活用することを目指すとともに、海づくりと森づくりを連携して行うことにより、環境の保全と地域への貢献を図る。 <兵庫県漁業協同組合連合会> 豊かな森に降った雨は、地表に積もった腐葉土を通過して大地にしみ込み、川の水となる過程で豊かな栄養を含みます。この栄養豊かな水が海に注ぎ込むことにより、多種多様な生物をはぐくみ、豊かな海づくりにつながります。JFグループ兵庫では、豊かな海を次の世代に引き継いでいくため、「豊かな森が豊かな海を育てます」を合言葉に、森づくりに取り組んでいます。
和歌山県	<和歌山県漁業士連絡協議会> 和歌山県の漁業士で構成する和歌山県漁業士連絡協議会が主体となり、県下の主要な河川の上流域に植樹を平成10年度から県内10カ所計3.65haで行っている。
鳥取県	2018年10月31日よりとっとり共生の森に参画、日本水産（株）、鳥取県、同県琴浦町と3社で森林保全・管理協定を締結した。森林組合に定期的な森林整備を委託しているほか、一年に一度、従業員参加型の保全活動を実施している。2018年11月11日の第一回保全活動では若木300本超の植樹を行った。2019年9月28日の第二回保全活動では、下草刈りと30本の補植を行った。

	た。その他、鳥取県緑化推進委員会開催の「令和元年みどりの少年団交流集会」に協力、講義と当森での下草刈りを行った。
島根県	＜益田市沿岸漁業水産振興協議会＞ 小学校、保育所との交流が始まった、毎年違う学校へ訪問
岡山県	＜岡山県漁業士会 作州かがみの森林組合＞ 瀬戸内海の海の幸に栄養をもたらす原点ともいえる森林を育み、漁場環境改善につなげることを目的として、森林を整備するほか、整備活動を通して山間部地域社会との交流を図る。
徳島県	＜（公財）徳島森林づくり推進機構＞ （公財）徳島森林づくり推進活動と地元自治体等が開催する、町有林に植樹を行うイベントに、漁業者が参加。
香川県	＜JF 香川県漁協青壮年部連絡協議会＞ 近年、瀬戸内海では漁場環境が変化し、カキ養殖業はカキの成長が遅く、ノリ養殖業では低栄養塩化によるノリの色落ち、漁船漁業では、稚魚の育成場として重要な藻場の減少や植物プランクトンの組成の変化が生物生産に影響し水揚げが減少するなど、漁業生産の継続が心配されている。このような状況の中、私達 JF 香川県漁協青壮年部連絡協議会は瀬戸内海の栄養塩不足による漁場環境の悪化を食い止めるため、平成 25 年から植樹活動を行っている。活動内容は、さぬき市所有地の 0.15ha に生えた竹をすべて伐採し森の栄養分が海に流れ込むことを期待し、広葉樹であるクヌギとヤマザクラの苗木を植樹した。この場所は、未だに竹の地下茎が残っており、すぐに再生竹が生えることから平成 30 年度は竹や雑草を除去し、また生長した苗木の枝打ちをした。今後も継続して下刈り等管理を行っていく計画である。
愛媛県	＜西条市藻場づくり環境保全協議会＞ 1. 市内小学校で出前授業 2. 流域における植林活動
高知県	＜須崎市＞ 須崎市主催の森林保全活動（植樹、間伐体験）への参加
福岡県	＜八女市役所矢部支所 福岡有明海漁業協同組合連合会＞ 平成 13 年度より活動を行っており、最初の頃は有明海へ流れる矢部川の源流である八女市矢部村の市有林への植栽を行っていた。現在は、その市有林の下刈り期間も終了しているので、別の場所（柳川市との水のふるさと協定によって矢部村高巣公園に作られた柳川市民の森）の下刈り作業を行っている。

	<森と海の再生交流事業実行委員会> 森林から供給される水が豊かな漁場を育んでいることから、漁業者、林業関係者や市民ボランティア団体等が共働して植林作業を行い、相互交流を図るとともに、水域全体としての環境保全を図っている。
佐賀県	<鹿島市と鹿島市環境衛生推進協議会の共催> 広葉樹植樹による複層林化、植樹地の下刈り
	<JF 佐賀有明海南川副支所・佐賀市支所> 「泉水の森」づくりについては、佐賀市と連携して毎年、下草刈り等の活動をしているが、夏季の台風等の被害により今年度の活動については、漁協職員のみで実施した
大分県	<別府湾水産振興協議会> 植樹を行った後、毎年9月に下刈りを実施しており、平成22年には日出町緑の募金の支援により追加植栽（20本）、平成28年1月9日には協議会で追加植栽（60本）を実施した。
	<中津干潟を元気にする会> 平成28年度から植樹を開始して3年目（H28：20本、H29：50本、H30：50本 R1：100本）である
宮崎県	<日南市漁協青壮年部 南郷三組合共同漁業権管理委員会> 青壮年部が中心となり、県、市、漁協職員の協力の下、下刈り、伐採等を行った。

令和元年度「漁民の森づくり活動」状況調査

昨年が続いて活動報告があったところ
今年活動報告があったところ

全道64ヶ所

香深漁協女性部「お魚を殖やす植樹」

利尻漁協女性部(脊形)「お魚を殖やす植樹運動」

利尻漁協女性部(仙法志)「お魚をふやす植樹運動」

利尻漁協女性部(鷺泊・鬼脇)「お魚を殖やす植樹運動」

民安ダム「サクラの森づくり」の会「第20回民安ダム「サクラの森づくり」の会植樹会」

遠別町「遠別町植樹祭」

北るもい漁協羽幌女性部「お魚殖やす植樹運動」

緑と魚と人と呼ぶ森づくり推進協議会「緑と魚と人と呼ぶ森づくり植樹祭」

留萌南部森林管理署「お魚を呼ぶ森林づくり」

増毛漁協女性部「流域における植樹」

留萌南部森林管理署「ニシンの森再生森林づくり」

石狩湾漁協「清流と魚を守る森林づくり植樹」

北海道漁業協同組合連合会「お魚殖やす植樹運動」

古平町「令和元年度古平町植樹祭」

東しゃこたん漁協美国地区女性部「お魚増やす植樹運動」

古宇郡漁協盃地区女性部「お魚殖やす植樹活動」

いぶり噴火湾漁協豊浦支所・礼文支所
いぶり噴火湾漁協豊浦地区女性部
いぶり噴火湾漁協礼文地区女性部
「第25回植樹祭」

八雲町漁業協同組合
「おさかなの森づくり運動令和元年度河畔林造成の森植樹祭」

サケの上る森づくり実行委員会「サケの上る森づくり」

奥尻地区藻場保全活動組織
「流域における植樹」

熊石地区藻場保全活動組織
「熊石地区藻場保全活動組織」

ひやま漁協女性部江差支部
「第23回お魚殖やす育樹運動」

上ノ国町日本海グリーンベルト構想推進協議会
「豊かな海づくりのための植樹祭」

上磯郡漁協上磯支所女性部・はまなす支所女性部
「お魚殖やす植樹運動」

松前さくら漁協 「お魚殖やす植樹運動」

鹿部漁協女性部「令和元年植樹祭」

福島吉岡漁協女性部「お魚殖やす植樹運動」

様似町「お魚殖やす植樹活動」

室蘭漁協女性部
「お魚を増やす植樹運動」

苫小牧漁協女性部
「お魚殖やす植樹運動」

鷗川漁協、鷗川女性部
「お魚殖やす植樹運動」

厚真町
「木を植えて環境を考える植樹会」

いぶり中央漁協女性部登別支部
「漁民の森づくり植樹活動」

胆振総合振興局

檜山振興局

渡島総合振興局

後志総合振興局

石狩振興局

空知総合振興局

上川総合振興局

宗谷総合振興局

稚内漁協女性部「お魚殖やす植樹運動」

猿払村漁協女性部 「漁民の森づくり植樹」

頓別漁協女性部 「お魚殖やす植樹活動」

枝幸漁協女性部 「お魚殖やす植樹運動」

雄武漁協 「お魚を殖やす植樹運動」

沙留漁協
「豊かな緑と海を育む森づくり事業」

紋別市・紋別漁協・
紋別漁協女性部
「オホーツク魚の市民植樹祭」

湧別漁協・湧別漁協女性部
「浜のかあさん植樹祭」

佐呂間漁協
「佐呂間漁協植樹祭」

標津町・標津漁協・標津農協
「川を守る植樹活動」

標津町植樹実行委員会
「標津町植樹祭」

オホーツク総合振興局

十勝総合振興局

釧路総合振興局

根室振興局

別海町
令和元年度別海町
植樹祭「おさかな殖やす植樹運動」

歯舞漁協女性部・青年部
「お魚殖やす植樹運動」

根室漁協 「流域における植林」

海守会 「環境生態系保全活動」

標茶町役場農林課林政係
「豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動」

浜中漁協女性部、浜中町
「お魚殖やす植樹祭(浜中町植樹祭と合同開催)」

散布漁協女性部 「散布漁協女性部植樹祭」

厚岸町民の森造成実行委員会 「厚岸町民の森植樹祭」

昆布森漁協女性部 「お魚殖やす植樹活動」

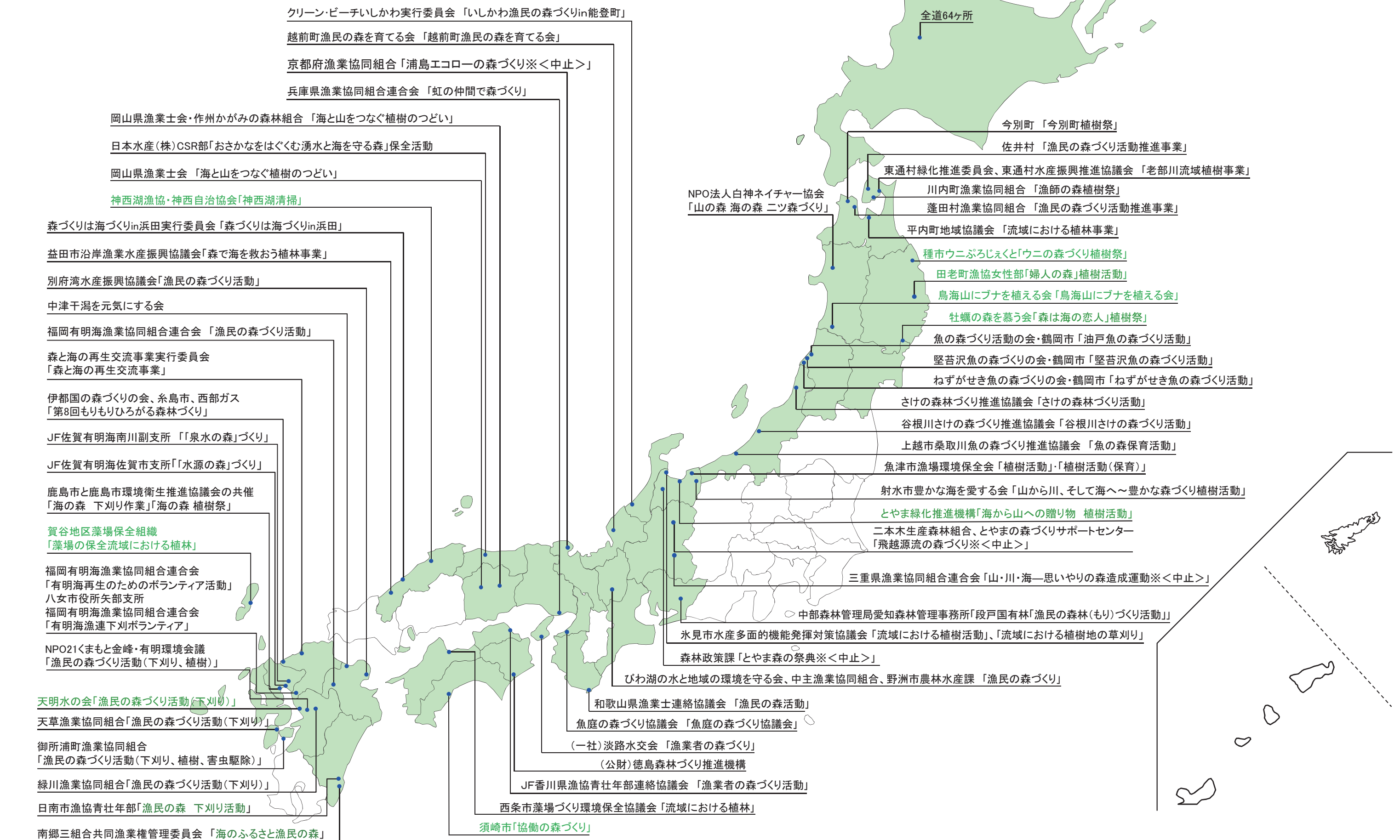
註: 令和元年11月調査(年度内計画含む)
公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

令和元年度「漁民の森づくり活動」状況調査

昨年に続いて活動報告があったところ

今年活動報告があったところ

全国128ヶ所



註: 令和元年11月調査(年度内計画含む)
公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

令和元年度における「漁民の森づくり活動」

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
北海道 (女性連)	お魚殖やす植樹運動	北海道漁業協同組合連合会	当別町道民の森神居尻地区	道有林	6月	地ごしらえ、植樹、下刈り
北海道 (小樽地区)	清流と魚を守る森林づくり植樹	石狩湾漁業協同組合	石狩市厚田区小谷	その他保安林	10月	植樹
	令和元年度古平町植樹祭	古平町	古平町大字歌棄町	市町村林	10月	植樹
	お魚増やす植樹運動	東しゃこたん漁協美国地区女性部	積丹町大字美国町厚苫地区	市町村林	5月	下刈り
	お魚殖やす植樹運動	古宇郡漁協盃地区女性部	泊村興市内村字茂岩	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹
北海道 (桧山地区)	熊石地区藻場保全活動組織	熊石地区藻場保全活動組織	熊石平地区	私有林	7月	地ごしらえ、植樹
	流域における植樹	奥尻地区藻場保全活動組織	奥尻町字珠浦	市町村林	6月	植樹
	豊かな海づくりのための植樹祭	上ノ国町日本海グリーンベルト構想推進協議会	上ノ国町字北村671	市町村林	10月	地ごしらえ、植樹
	第23回お魚殖やす植樹運動	ひやま漁協女性部江差支部	江差町町民の森	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹
	サケの上る森づくり	サケの上る森づくり実行委員会	北檜山区徳島狩場霊園前	市町村林	10月	植樹

実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	ミズナラ(250) イタヤカエデ(250) ニレ(250)	157	15		0.30	750	H9	北海道漁業協同組合連合会	漁連、その他
	ミズナラ(500)	29	27	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 採藻・採貝漁業(コンブ、ホッキ) 刺網・流し網(ニシン) 延縄・潜水・船曳(ナマコ、ホヤ、バカ貝、タコ) 筒・籠・壺(ツブ、ヒラツメカニ)	0.50	500	H20.10	石狩湾漁業協同組合	女性部、緑と水の森林ファンド事業
	アカエゾマツ(150) マカハ(150)	65	17	定置・建網(サケ) 採藻・採貝漁業(ウニ) 刺網・流し網(ホッケ) 筒・籠・壺(タコ)	0.15	300	不明	古平町	古平町
	ミズナラ(100)	15	15	採藻・採貝漁業(ウニ、アワビ、ナマコ) 刺網・流し網(ホッケ、カレイ)	0.02	100	H21.5	積丹町	漁村振興活動公募事業
	サクラ(20)	12	12	定置・建網(サケ) 採藻・漁業(ノリ) 釣り(イカ)	0.03	20	H8.5	古宇郡漁協盆地区女性部	女性部 コープ
	ブナ(100)	12	12	定置・建網(マス、サケ、ヒラメ) 貝類養殖(アワビ) 魚類養殖(ホッケ) 採藻漁業(コンブ) 採貝漁業(ウニ、アワビ) 刺網・流し網(カレイ、ヒラメ) 釣り(マス、タラ) 延縄・潜水・船曳(タラ、アワビ、ホッケ) 筒・籠・壺(エビ)	0.01	100	H26.6	土地所有者	八雲町、国
	ミズナラ(200)	14	14	定置・建網(ホッケ、ヒラメ、カレイ) 貝類養殖(イカキ) 藻類養殖(コンブ) 採藻・採貝漁業(ワカメ、モズク、ウニ、アワビ) 刺網・流し網(カレイ、メバル、ヒラメ) 釣り(ホッケ、カレイ、タラ、メバル) 延縄・潜水・船曳(ナマコ、ホヤ、バカ貝、タコ) 筒・籠・壺(ツブ、ヒラツメカニ)	0.05	200	H26.5	奥尻町	水産業多面的機能事業
	カシワ(300)、ミズナラ(400)、トチノキ(300)	154	40	定置・建網(ホッケ、ヒラメ) 貝類養殖(アワビ) 採藻漁業(コンブ) 釣り(スケソウ)	0.10	1,000	H18.5	上ノ国町	上ノ国町
ヒノキアスナロ(100)		30	20	定置・建網(サケ、小定置) 藻類養殖(コンブ、ノリ) 採藻・採貝漁業(ウニ、アワビ) 釣り(イカ、ヒラメ) 延縄・潜水・船曳(ナマコ) 筒・籠・壺(エビ)	0.05	100	S63.6	檜山南部森林組合	漁連
ヒバ(10)	アオダモ(40)、ブナ(40)、クリ(20)、クルミ(20)、ミズナラ(50)	103	3	定置・建網(サケ) 貝類養殖(バカ貝) 採貝漁業(ウニ、アワビ) 刺網・流し網(タラ) 釣り(イカ、マス) 筒・籠・壺(エビ)	0.10	180	H7.10	せたな町	せたな町

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
北海道 (渡島地区)	お魚殖やす植樹運動	松前さくら漁協	江良	漁協所有地	11月	下刈り、植樹
	お魚殖やす植樹運動	福島吉岡漁協女性部	福島町	市町村林	5月	植樹
	お魚殖やす植樹運動	上磯郡漁協上磯女性部はまなす女性部	北斗市添山地区	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹
	令和元年植樹祭	鹿部漁協女性部	鹿部町つながりの森	市町村林	9月	地ごしらえ、植樹
	おさかなの森づくり運動令和元年度河畔林造成の森植樹祭	八雲町漁業協同組合	八雲町上八雲トワルベツ川上流	市町村林	10月	地ごしらえ、植樹
北海道 (胆振地区)	第25回植樹祭	いぶり噴火湾漁協豊浦支所・礼文支所 いぶり噴火湾漁協豊浦地区女性部 いぶり噴火湾漁協礼文地区女性部	豊浦町字新山梨	市町村林	6月	地ごしらえ、植樹
	お魚を増やす植樹運動	室蘭漁協女性部	室蘭市潮見公園、トッカリョ	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹
			室蘭市トッカリョ		7月	下刈り
	漁民の森づくり植樹活動	いぶり中央漁協女性部登別支部	登別市カルルス町	市町村林	6月	地ごしらえ、植樹
	お魚殖やす植樹運動	苫小牧漁協女性部	苫小牧市高丘山林	私有林	5月	植樹
	木を植えて環境を考える植樹会	厚真町	厚真町字隆3番地1	市町村林	5月	植樹
	お魚殖やす植樹運動	鶴川漁協鶴川女性部	むかわ町豊城	市町村林	5月	植樹

実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	ミズナラ(30)、イタヤ カエデ(30)、ケンヤ マハンノキ(30)	19	12	定置・建網(ヤリイカ、ヒラメ) 貝類養殖(アワビ、ナマコ) 魚類養殖(ホッケ) 藻類養殖(コンブ) 採藻漁業(コンブ) 採貝漁業(ウニ、アワビ) 刺網・流し網(ホッケ、タラ) 釣り(イカ、マグロ)	0.01	90	H4.10	松前さくら漁協	漁連
	ミズナラ(100)	60	35	定置・建網(ヒラメ) 採藻(コンブ) 釣り(イカ) 延縄・潜水・船曳(マグロ) 筒・籠・壺(タコ)	0.04	100	H1.5	福島町森林組合	漁連
スギ(300)		29	16	定置・建網(サケ、イワシ) 貝類養殖(カキ) 藻類養殖(コンブ、ワカメ) 採貝漁業(ホッキ)	0.10	300	H8.5	北斗市	漁連、北海道漁 村振興協会
	ミズナラ(200)、サク ラ(10)	40	40	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 藻類養殖(コンブ) 採藻漁業(コンブ) 刺網・流し網(カレイ) 釣り(タコ) 筒・籠・壺(エビ、タコ、ツブ)	0.30	210	S60.5	鹿部町	鹿部町
	ミズナラ(500)	17	13	定置・建網(サケ、カレイ) 貝類養殖(ホタテ) 採藻(コンブ) 採貝漁業(ホッキ他) 刺網・流し網(カレイ他) 延縄・潜水・船曳(ナマコ、ウニ) 筒・籠・壺(タコ、ツブ)	0.20	500	H6.10	渡島森林管理署・ 八雲産業(株)	八雲町漁協、 (社)北海道森と 緑の会
	ミズナラ(300)	48	31	定置・建網(サケ、マス) 貝類養殖(ホタテ) 採藻(ノリ、フノリ、マツモ) 刺網・流し網(カレイ類) 延縄・潜水・船曳(ホッキ) 筒・籠・壺(タコ、カニ、エビ、ツブ)	0.12	300	H7.5	豊浦町 森林組合	北海道、豊浦 町、漁協
	カシワ(100)	41	35	定置・建網(沖合底曳網)	1.00	100	H2.5	室蘭漁協	北海道、女性部
		26	12		0.50		H2.5		女性部
	山モミジ(50)	47	18	定置・建網(サケ、マス) 刺網・流し網(スケソウダラ等) 延縄・潜水・船曳(カニ、ウニ、ホッキ 等)	0.37	50	S63.5	サンライバスキー 場	漁連
	ミズナラ(500)	100	20	定置・建網(アキサケ) 刺網・流し網(スケソウ、カレイ)	0.17	500	S63.5	王子木材緑化(株)	漁連
カラマツ (200)、クリー ンラーチ(100)		25	15	刺網・流し網(カレイ) 延縄・潜水・船曳(ホッキ) その他(こぎ網:シジャモ)	0.10	300	H7.5	厚真町	厚真町
カラマツ(200)		20	12	定置・建網(サケ) 刺網・流し網(カレイ) 延縄・潜水・船曳(ホッキ) その他(こぎ網:シジャモ)	0.10	200	H8.5	むかわ町	漁連

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
北海道 (日高地区)	お魚殖やす植樹活動	様似町	様似郡様似町平宇(アボイ樹木園)	道有林	5月	下刈り、植樹
		様似町	様似郡様似町平宇(アボイ樹木園)	道有林	5月	地ごしらえ、植樹
	えりもワクワク森林づくり体験事業 植樹祭	えりも町(えりも岬の緑を守る会)	えりも町字庶野	市町村林	5月	植樹
北海道 (釧路地区)	魚付林植樹祭	広尾漁協	広尾町茂寄南	市町村林	5月	植樹
	お魚殖やす植樹運動	大樹漁協	大樹町字振別151番地1	市町村林	6月	地ごしらえ、植樹
	十勝川魚つきの森植樹	十勝川魚つきの森推進協議会 (広域森組)	中川郡豊頃町統内	その他(民有林)	5月	植樹
	白糠町植樹祭	白糠町緑化推進委員会	白糠町立庶路学園	その他(学校敷地)	5月	植樹
	豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動	標茶町役場農林課林政係	標茶町コッタロ	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹、下刈り
	お魚殖やす植樹活動	昆布森漁協女性部	昆布森	市町村林 漁協所有地	5、6月	植樹
	厚岸町民の森植樹祭	厚岸町民の森造成実行委員会	厚岸町糸魚沢	市町村林	6月	植樹
	散布漁協女性部植樹祭	散布漁協女性部	浜中町	道有林	5月	植樹
	お魚殖やす植樹祭(浜中町植樹祭と合同開催)	浜中町、浜中漁協女性部 と合同開催	浜中町湯沸	市町村林	5月	植樹



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	エゾヤマザクラ(10)	58	33	定置・建網(サケ) 採藻・採貝(コンブ、ツブ) 刺網・流し網(カレイ)	0.10	10	S63.5	様似町	北海道
	エゾヤマザクラ(20)	70	59	定置・建網(サケ) 採藻・採貝(コンブ、フノリ、ホッキ) 刺網・流し網(カレイ、ハタハタ) 延縄・潜水・船曳(タコ、ツブ、ウニ) その他(ナマコ)	0.10	20	S63.5	様似町	北海道
カラマツ(400)	ミズナラ(200) 八重桜(8)	232	29	定置・建網(サケ) 採藻・採貝(コンブ、フノリ、ホッキ) 刺網・流し網(カレイ、ハタハタ) 延縄・潜水・船曳(タコ、エビ、ツブ、ウニ) その他(ナマコ)	0.30	608	S63.5	えりも町	セブンイレブン 財団
カラマツ(400)		80	80	定置・建網(サケ) 採藻(コンブ) 延縄・潜水・船曳(カニ他) 筒・籠・壺(ツブ、カニ)	0.096	400	H7.6	広尾町	漁連
	ヤチダモ(500)	62	48	定置・建網(サケ)	0.17	500	H13.5	大樹漁協	大樹漁協、漁連
カラマツ (1,150)		102	26	定置・建網(サケ) 採貝漁業(ツブ、ホッキ) その他(シヤモ)	0.57	1,150	H17.10	豊頃町	その他
トドマツ	サクラ	120	11	定置・建網(サケ) 延縄・潜水・船曳(シヤモ) 筒・籠・壺(ケガニ)	0.40	710	H6.5	白糠町緑化推進委 員会	その他
	ミズナラ(300)、ヤチ ダモ(500)、ドロノキ (200)、ハルニレ (200)、イタヤカエデ (5)、ニトリザクラ(5)	130	19	定置・建網(サケ) 藻類養殖(コンブ) 刺網・流し網(カレイ) 釣り(タコ) 筒・籠・壺(ツブ)	0.35	1,210	H7.5	標茶町	標茶町、ニトリ
	エゾヤマザクラ(300)	160	82	定置・建網(サケ) 貝類養殖(カキ) 採藻(コンブ) 延縄・潜水・船曳(ウニ)	0.09	300	H8.5	昆布森漁協	漁連、その他
	ミズナラ他(2562)、ニ トリザクラ(10)	533	118	貝類養殖(カキ) 採藻(コンブ)	1.00	2,572		厚岸町	その他
	ミズナラ(80)、カシワ (80)	66	61	採藻(コンブ)	0.04	160	H11.5	散布漁協	漁村振興会
グイマツ(400)	イヌエンジュ(200)、カ シワ(200)	237	108	採藻(コンブ)	0.11	800	H2.5	浜中町	浜中町、漁村振 興協会



都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
北海道 (根室地区)	環境生態系保全活動	海守会	根室市落石	漁協所有地	7月	植樹
	お魚殖やす植樹活動	歯舞漁協女性部・青年部	友知地区	私有林	5月	地ごしらえ、植樹、下刈り
	流域における植林	根室漁協	根室市牧の内	市町村林	5月	植樹
	令和元年度別海町植樹祭「おさかな殖やす植樹運動」	別海町	別海町別海140番地の80	市町村林	5月	植樹
	「新コープの森」植樹	野付植樹協議会	別海町尾岱沼	私有林	6月	植樹
	標津町植樹祭	標津町植樹実行委員会	標津町ポー川	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹
	川を守る植樹活動	標津町・標津漁協・標津農協	標津町北標津	市町村林	10月	地ごしらえ、植樹
	(定置部会)植樹活動	羅臼定置漁業部会	羅臼町湯ノ沢町 ビジターセンター裏	国有林	5月	地ごしらえ、植樹
北海道 (北見地区)	お魚殖やす植樹運動	斜里第一漁協・斜里第一漁協女性部	奥薬別川河口(左岸)	漁協所有地	6月	地ごしらえ、植樹、下刈り
	大地と海をつなぐ植樹	網走川流域農業・漁業連携推進協議会	津別町最上	道有林	6月	植樹
	佐呂間漁協植樹祭	佐呂間漁協	佐呂間町武富士	私有林	5月	植樹
	浜のかあさん植樹祭	湧別漁協・湧別漁協女性部	湧別町計呂地	市町村林	6月	植樹
	オホーツク魚の市民植樹祭	紋別市・紋別漁協・紋別漁協女性部	紋別市大山	市町村林	5月	地ごしらえ、植樹、下刈り
	豊かな緑と海を育む森づくり活動	沙留漁協	紋別郡興部町宇津	市町村林	6月	植樹
	お魚を殖やす植樹運動	雄武漁協	雄武町中幌内	漁協所有地	6月	地ごしらえ、植樹



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	エンジュ(100)、ハル ニレ(50)、ミズナラ (50)、イタヤカエデ (50)、アオダモ(100)	36	29	定置・建網(サケ) 採藻(コンブ)、採貝(ホッキ)、 刺網・流し網(鮮魚)、釣り(イカ) 延縄・潜水・船曳(ウニ) 筒・籠・壺(タコ) その他(棒受網サンマ)	0.14	350	H22.6	落石漁協	環境生態系全活 動
	ヤナギ他(310)	161	150	定置・建網(アキサケ)、採藻(コンブ) 刺網・流し網(タラ、カレイ) 延縄・潜水・船曳(ウニ) その他(ウニ、タモ漁・棒受網サンマ)	0.12	310	H7.5	私有者	北海道、漁連
	エンジュ(500)	51	28	定置・建網(サケ)	0.16	500	H27.5	根室漁協	根室海域環境保 全協議会
アカエゾマツ (1500)		11	11	定置・建網(サケ、カレイ、ニシン) 採貝漁業(アサリ、ホッキ)	0.66	1,500	S63.5	別海町	別海町
	ヤチダモ(480) シラカバ(560)	59	20	定置・建網(サケ) 延縄・潜水・船曳(ホタテ)	0.26	1,040	H12.6	別海町森林組合	北海道
	ヤチダモ他(3500)	330	32	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ)	0.48	3,500	S40.3	標津町森林組合	漁連
	ヤチダモ(300)	50	30	定置・建網(サケ) 採貝(ホタテ)	0.10	300	H25.10	標津町森林組合	
	ナナカマド(15)	13	13	定置・建網(サケ)	不明	15	H16.8	羅臼漁協	羅臼漁協
アカエゾマツ (100)	ミズナラ(71)	46	35	定置・建網(サケ)	0.03	171	S63.5	斜里第一漁協	斜里第一漁協
	ヤチダモ(100) カツラ(100) ハルニレ(100) ケヤマハンノキ(100)	162	40	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ、シジミ)	1.00	400		網走建設管理部	網走漁協、西網 走漁協、漁連
	カシワ他(700)	52	50	定置・建網(サケ・マス) 貝類養殖(ホタテ・カキ) 筒・籠・壺(エビ)		700	S63.6	佐呂間町森林組 合・佐呂間漁協	佐呂間漁協
	ヤチダモ(1000)	98	80	定置・建網(サケ・マス) 貝類養殖(ホタテ・カキ) 刺網・流し網(カレイ) 筒・籠・壺(ケガニ、タコ)	0.50	1,000	S63.5	湧別町	湧別漁協、漁連
グイマツ(50)、 クロエゾマツ (50)、	ミズナラ(50)、イタヤ (50)、ナナカマド (50)ヤチダモ(50)	350	109	定置・建網(サケ、イカ、ホッケ) 貝類養殖(ホタテ)、藻類養殖(コンブ) 採藻・採貝(コンブ、ホタテ、ホッキ、シジミ) 刺網・流し網(カレイ、ニシン) 延縄・潜水・船曳(ナマコ、タラ)	1.00	300	S38.5	オホーツク中央森 林組合	紋別市、紋別漁 協
トドマツ(200)、 アカゾエマツ (200)	シラカバ(400)、ダケ カンバ(400)	129	62	定置・建網(サケ・マス)	0.60	1,200	H8.5	森林組合	沙流漁協、コー プ
	ミズナラ(1000)	84	69	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 採藻漁業(コンブ)	0.20	1,000	H8.6	雄武漁協	雄武漁協、漁連

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
北海道 (宗谷地区)	お魚殖やす植樹運動	枝幸漁協女性部	枝幸郡枝幸町下幌別	国有林	10月	地ごしらえ、植樹
	お魚殖やす植樹活動	頓別漁協女性部	浜頓別町頓別豊寒別川河畔	市町村林	6月	植樹
	漁民の森づくり植樹	猿払村漁協女性部	猿払村鬼志別豊里	国有林	6月	地ごしらえ、植樹
	お魚殖やす植樹運動	稚内漁協女性部	稚内市声問ミルクロード付近	市町村林	5月	植樹
	お魚を殖やす植樹運動	利尻漁協女性部(篤泊・鬼脇)	利尻郡利尻富士町鬼脇字野中	国有林	10月	地ごしらえ、植樹
	お魚を殖やす植樹運動	利尻漁協女性部(仙法志)	利尻郡利尻町仙法志字神磯	国有林	10月	地ごしらえ、植樹、下刈り
	お魚を殖やす植樹運動	利尻漁協女性部(杓形)	利尻町杓形地区	市町村林	10月	地ごしらえ、植樹
	お魚を殖やす植樹	香深漁協女性部	礼文町香深地区	国有林	10月	植樹
北海道 (留萌地区)	遠別町植樹祭	遠別町	旭温泉	市町村林	5月	植樹
	第20回民安ダム「サクラの森づくり」の会植樹会	民安ダム「サクラの森づくり」の会	天塩町字更岸	市町村林 私有林	5月	地ごしらえ、植樹
	緑と魚と人を呼ぶ森づくり植樹祭	緑と魚と人を呼ぶ森づくり推進協議会	みさき台公園	市町村林	5月	植樹
	お魚殖やす植樹運動	北るもい漁協羽幌女性部	羽幌町	市町村林	6月	植樹
	お魚を呼ぶ森林づくり	留萌南部森林管理署	留萌市幌糠	国有林	10月	植樹
	ニシンの森再生森林づくり	留萌南部森林管理署	増毛森林事務所部内37に小班	国有林	10月	植樹
	流域における植樹	増毛漁協女性部	増毛町暑寒別岳	漁協所有地	10月	植樹

実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	ケヤマハンノキ(850)	73	70	定置・建網(サケ、マス) 貝類養殖(ホタテ) 採藻・採貝(コンブ、ウニ) 刺網・流し網(カレイ) 釣り(タコ) 延縄・潜水・船曳(カニ、タコ) 筒・籠・壺(タコ)	0.174	850	S63.10	宗谷森林管理署・ 漁協	漁連、漁村振興 協会、枝幸漁協 女性部
	ヤナギ(200)	41	29	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 筒・籠・壺(カニ)	0.20	200	H8.6	浜頓別町	頓別漁協女性 部、漁村振興協 会他
アカエゾマツ (240)		60	50	貝類養殖(ホタテ)	0.12	240	S63.6	豊富猿払森林組合	漁村振興協会
アカエゾマツ (150)		40	34	定置・建網(サケ) 採藻・採貝(コンブ)	0.10	150	H8.6	稚内市役所	稚内漁協女性 部、北海道森と 緑の会
	エゾヤマサクラ(90)、 ナナカマド(90)、ダケ カンバ(90)	56	46	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 藻類養殖(コンブ) 採藻・採貝(コンブ、ワカメ、ウニ、ナマコ) 刺網・流し網(ホッケ、カレイ) 釣り(ヒラメ) 延縄・潜水・船曳(ナマコ)	0.10	270	S63.10	宗谷森林管理署	利尻漁協女性部 (簗泊・鬼脇)、漁 連
	エゾヤマサクラ(20)、 ナナカマド(50)、ダケ カンバ(50)	19	14	藻類養殖(コンブ) 刺網・流し網(ホッケ)	0.10	120	H8.6	宗谷森林管理署	漁連
	ケヤマハンノキ(50)、 エゾヤマザクラ(25)、 ダケカンバ(25)、ナナ カマド(50)	22	18	藻類養殖(コンブ) 採藻漁業(コンブ、ワカメ) 刺網・流し網(ホッケ、ガヤ) 延縄・潜水・船曳(ナマコ) その他(タコ)	0.16	150	H22.10	利尻漁協	利尻漁協女性部 (杓形)、漁連
	ミズナラ(110)	19	19	藻類養殖(コンブ) 採藻漁業(コンブ) 採貝漁業(ウニ、ナマコ、アワビ) 刺網・流し網(ホッケ、タラ) 延縄・潜水・船曳(ナマコ) 筒・籠・壺(タコ、エビ)	0.10	110	H1.10	香深漁協	漁連、香深漁協
	ニトリザクラ(80)、エ ゾヤマザクラ(60)	60	12	貝類養殖(ホタテ)		140	H22.6	遠別町農林係	ニトリ北海道応 援基金
	エゾヤマザクラ(120)	120	6	定置・建網(サケ、ヒラメ、カレイ) 刺網・流し網(カレイ、カスベ) 釣り(ヒラメ) 筒・籠・壺(タコ)		120	H30.5	民安ダム「サクラの 森づくり」の会	
	エゾヤマザクラ(30) ソメイヨシノ(30)	44	3	定置・建網(サケ、マス) 貝類養殖(ホタテ) 筒・籠・壺(タコ)		60	H7.5	初山別役場	その他
	ヤチダモ他(200)	85	15	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 刺網・流し網(カレイ)	0.21	200	H8.5	自然空間はぼろ ビオトープ	北海道
	ミズナラ(21)	15	10	刺網(カレイ) その他(エビ、ナマコ)		21		留萌南部森林管理 署	コープ
	ミズナラ(24)	15	9	定置・建網(サケ) 貝類養殖(ホタテ) 刺網・流し網(カレイ) 筒・籠・壺(タコ) その他(エビ)	3.92	24	H19.5	留萌南部森林管理 署	その他
	ミズナラ(100)	19	16	貝類養殖(ホタテ) その他(エビ)	0.60	100	S63.5	留萌南部森林管理	増毛漁協女性 部、漁連

令和元年度における「漁民の森づくり活動」

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
青森県	老部川流域植樹事業	東通村緑化推進委員会 東通村水産振興推進協議会	東通村大字白糠	国有林	6月	植樹
	漁師の森植樹祭	川内町漁業協同組合	むつ市川内町獅子畑地内	市町村林	4月	植樹
	漁民の森づくり活動推進事業	佐井村	下北郡佐井村大字佐井地内	国有林	6月	地ごしらえ、下刈り、植樹
	漁民の森づくり活動推進事業	蓬田村漁業協同組合	蓬田村内	国有林	9月	下刈り
	流域における植林事業	平内町地域協議会	平内町大字東田沢字野内畑	私有林	6月	下刈り、植樹、間伐・伐採、
	今別町植樹祭	今別町	今別町大字山崎字山元	国有林	6月	地ごしらえ、植樹
岩手	「婦人の森」植樹活動	田老町漁協女性部	岩手県宮古市田老青倉地区民有林	私有林	4月	植樹
	ウニの森づくり植樹祭	種市ウニぷろじえくと	九戸郡洋野町八木地区	私有林	5月	地ごしらえ、植樹
宮城県	「森は海の恋人」植樹祭	牡蠣の森を慕う会	岩手県一関市室根町	私有林	6月	植樹
秋田県	山の森 海の森 ニッ森づくり	NPO法人白神ネイチャー協会	八森字水の目(ナメコ沢)	市町村林	10月	地ごしらえ、下刈り、植樹
	鳥海山にブナを植える会	鳥海山にブナを植える会	鳥海山霊峰付近一帯	市町村林	春～秋	地ごしらえ、下刈り、植樹



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	オオヤマザクラ、コナ ラ、ブナ、トチ、ミズナ ラ、ヤマモミジ	50	30	定置・建網(サケ、サケマス等) 採藻(コンブ)、採貝(アワビ) 釣り(サケマス) 老部川内水面漁協	0.10	212	H26.6	東通村	東通村
	ブナ、ナラ、ヒバ	72	30	貝類養殖(ホタテ)			H30.4	むつ市	川内町漁業協同 組合
	ブナ	35	20	定置・建網 魚類養殖 採貝漁業 刺網・流し網 釣り 筒・籠・壺	0.27	200	H16.6	国、佐井村	
	ブナ	13	8	ホタテ養殖	0.79	410	H13.10	蓬田村漁業協同組 合	蓬田村漁業協同 組合
	ブナ	72	56	ホタテ養殖	5.00	300	H27.6	森林組合	平内町地域協議 会
	ヒバ、ミズナラ、トチ、 ブナ	80	2		0.20	600	S59.6	今別町	町緑化推進委員 会
	コナラ1,000本	129	58	定置・建網(サケ) 藻類養殖(ワカメ、コンブ) 採藻漁業(ワカメ、コンブ) 採貝漁業(アワビ、ウニ)		1,000	R5.5	林業者	田老町漁協女性 部
	コナラ1300、芝刈200	150	70	定置・建網(サケ) 採藻漁業(わかめ・こんぶ) 採貝漁業(うに・あわび) 刺網・流し刺網(ひらめ) 筒・籠・壺(たこ)	0.50		H19.5	洋野町、林業者	洋野町、岩手県
	ミズナラ・コナラ・ブナ 他	11	11	採藻漁業			H2.6	その他	女性部
	ブナ、ミズナラ、カツ ラ、ケヤキ	255	4	定置・建網(ハタハタ) 漁協女性部	2.70	500	H12.10	NPO法人白神ネイ チャー協会	NPO法人白神ネイ チャー協会
	ブナ	423		不明		1,530	H6.7	鳥海山にブナを植 える会	



都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
山形県	堅苔沢魚の森づくり活動	堅苔沢魚の森づくりの会 鶴岡市	鶴岡市堅苔沢地内	私有地(休耕田)	5月、9月	下刈り、その他(消毒)
	油戸魚の森づくり活動	魚の森づくりの会 鶴岡市	鶴岡市油戸地内	市有林(山林組合)	7月	下刈り、蔓切り、植樹
	ねずがせき魚の森づくり活動	ねずがせき魚の森づくりの会 鶴岡市	鶴岡市鼠ヶ関地内	私有地	7月、10月	下刈り、植樹、その他(チップ敷き・補植)
新潟県	魚の森保育活動	上越市桑取川魚の森づくり推進協議会	上越市大字西谷内地内	市町村林	7月、11月	下刈り、蔓切り、その他(散策道のウッドチップ敷き)
	谷根川さけの森づくり	谷根川さけの森づくり推進協議会	柏崎市大字谷根地内	柏崎市有地	10月	下刈り、植樹
	さけの森林づくり活動	さけの森林づくり推進協議会	村上市岩崩地内	国有林	10月	下刈り、植樹
富山県	流域における植樹活動	氷見市水産多面的機能発揮対策協議会	氷見市西朴木地区	私有林	6月	地ごしらえ、枝打ち 植樹(補植含む)
	流域における植樹地の草刈り				10月	下刈り 蔓切り、その他(苗に目印)
	山から川、そして海へ～豊かな森づくり 植樹活動	射水市豊かな海を愛する会	射水市大門串田字鳥越	市町村林	11月	下刈り、植樹(補植含む)
	植樹活動	魚津市漁場環境保全会		私有林	6月	植樹
	植樹活動(保育)			私有林	6月	下刈り
	海から山への贈り物 植樹活動	とやま緑化推進機構		県有林	6月	植樹
	とやま森の祭典※<中止>	県・森林政策課	富山県砺波市頼成地内		6月	植樹、その他
	飛越源流の森づくり※<中止>	二本木生産森林組合、とやまの森づくりサポートセンター	岐阜県高山市夏廐地内		7月	下刈り 蔓切り、その他



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	クリ、ケヤキ、サクラ	18	2	採藻、採貝 延縄・潜水・船曳	0.10		H21.10	鶴岡市、堅苔沢魚 の森づくりの会	鶴岡市
	アキグミ、ネムノキ、 カシワ	64	8	採藻、採貝 延縄・潜水・船曳	0.50		H9.10	鶴岡市	鶴岡市
	ヤマボウシ、ヤマザ クラ	56	25	採藻、採貝 延縄・潜水・船曳	0.40		H26.8	鶴岡市、ねずがせ 魚の森づくりの 会	鶴岡市
	コナラ、ブナ等	186	76	刺網	0.60		H16.10	上越市桑取川魚の 森づくり推進協議 会	上越市漁協、桑 取川漁協、 くびきの森林組 合、(株)JERA、 国際石油開発帝 石(株)、新潟県漁 連、上越市
	楊貴妃(サクラ)、ミズ ナラ	57	20	刺網・流し網(さけ、ひらめ、かれ い等) その他・さけ増殖事業	0.20	20	H16.11	谷根川さけの森づ くり推進協議会	新潟県漁業協同 組合連合会
	ブナ	40	8	定置、刺網、釣り	0.20	50	H11.10	県、市町村	漁業関係者
	コナラ、クヌギ	24	20	定置	0.42	150	H25.11	氷見市、漁協、森 林組合、氷見市水 産多面的機能発揮 対策協議会	氷見市水産多面 的機能発揮対策 協議会
	クリ・クヌギ・コナラ	36	30	定置	0.42	170	H25.11		
	ケヤキ	16	10	定置、船曳(小型底曳)	0.01	25	H26.11	射水市	
		79	7	定置、採藻漁業(ノリ)、採貝漁業(ア ビ・カキ)	0.50	140	H21.12	漁協・漁業者グ ループ	魚津市漁場環境 保全会
		2	2		0.60		H21.2		魚津市漁場環境 保全会
		1	1	内水面				富山県	
		1	1	県漁連				富山県、市町村	
		4	4	県漁連			H20	森林組合	



令和元年度における「漁民の森づくり活動」

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
石川県	いしかわ漁民の森づくりin能都町	クリーン・ビーチいしかわ実行委員会	山林	市町村林	11月	枝打ち
福井県	越前町漁民の森を育てる会	越前町漁民の森を育てる会			10月	植樹
愛知県	段戸国有林「漁民の森林(もり)づくり活動」	中部森林管理局愛知森林管理事務所(事務局)	北設楽郡設楽町田峯字段戸	国有林	10月	下刈り
三重県	山・川・海—思いやりの森造成運動※＜中止＞	三重県漁業協同組合連合会	岐阜県加茂郡白川町 笹平高原	市町村林	10月※荒天中止	
滋賀県	漁民の森づくり	びわ湖の水と地域の環境を守る会 中主漁業協同組合 野洲市農林水産課	野洲市大篠原地区	大篠原森林組合	3月	地ごしらえ、下刈り、植樹
京都府	浦島エコローの森づくり※＜中止＞	京都府漁業協同組合				
大阪府	魚庭の森づくり活動	魚庭の森づくり協議会	岸和田市 神於山	市町村林	7～11月	下刈り、蔓切り
兵庫県	虹の仲間森づくり	兵庫県漁業協同組合連合会	神戸市神出神社内	その他保安林	11月	間伐・伐採
	漁業者による森づくり	(一社)淡路水交会	兵庫県洲本市 猪ノ鼻ダム	市町村林	11月	植樹
和歌山	「漁民の森」活動	和歌山県漁業士連絡協議会				
鳥取県	「おさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」保全活動	日本水産(株)CSR部	鳥取県東伯郡琴浦町大字山川字 勝田川頭西平807-4	市町村林	9月	下刈り、植樹



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
雑木		50	10	漁協本所、水産振興事業団	1.00	多数	H15.10	能登町	クリーン・ビーチ いしかわ実行委 員会
	サクラ	30	10	定置、刺網、釣り、船曳(底曳)		10	H13.6	漁業者グループ、 森林組合	
	ブナ、ナラ	80	19	採貝漁業(マンガ漁)、刺網	0.50		H14	NPO法人穂の国 森づくりの会	蒲都市、(公財) 豊川水源基金
							H9.11	市町村、漁協・漁 業者グループ、森 林組合	三重県漁業協同 組合連合会
	コナラ、モミジ	240	42	定置・建網(アユ) 採貝漁業(シジミ) 刺網・流し網(アユ、ニコロブナ)	0.80	480	H18.3	森林組合	国、県、市、漁協
	サクラなど	98	83	定置・建網(イワシ、アジ、スズキ他) 刺網・流し網(イワシ、サワラ他) 延縄・潜水・船曳(イワシラス、貝類 他)	10.00		H10	漁連・漁協・漁業者 グループ、魚庭の 森づくり協議会	魚庭の森づくり 協議会
		169	103	貝類養殖(カキ) 藻類養殖(ノリ) 延縄・潜水・船曳(船曳) その他			H11.11	NPO	兵庫県漁業協同 組合連合会
	ウバメガシ	147	101	定置・建網 貝類・魚類・藻類養殖、採藻・採貝 刺網・流し網、釣り 延縄・潜水・船曳、筒・籠・壺		600	H21.11	その他	(一社)淡路水交 会
							H10.11		
	トチノキ、ヤマザク ラ、イタヤカエデ	104	79	魚類養殖(ギンザケ・ブリ・サバ他) 採貝漁業 まき網／アジ・サバ・イワシ・ブリ・ マグロ・カツオ 他	0.13		H30.10	森林組合	日本水産(株)



令和元年度における「漁民の森づくり活動」

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
島根県	森づくりは海づくりin浜田	森づくりは海づくりin浜田実行委員会	浜田市弥栄町三里ふるさと体験村	市町村林	10月	地ごしらえ、植樹
	森で海を救おう植林事業	益田市沿岸漁業水産振興協議会	益田市市内山林	私有林 市町村林	2月	植樹
	神西湖清掃	神西湖漁協・神西自治協会	神西地区	神西湖	3月	下刈り、草刈り、 ごみ拾い他清掃
岡山県	海と山をつなぐ植樹のつどい	岡山県漁業士会 作州かがみの森林組合	苫田郡鏡野町	市町村林	7月	下刈り、植樹
	海と山をつなぐ植樹のつどい	岡山県漁業士会	新見市大佐地内	市町村林	7月	下刈り
徳島県		(公財)徳島森林づくり推進機構	徳島県海部郡海陽町神野字柿谷	市町村林	12月	植樹
香川県	漁業者の森づくり活動	JF香川県漁協青壮年部連絡協議会	さぬき市長尾名字東ノ谷(ツイン パル長尾 隣接地)	市町村林	6月	下刈り、枝打ち
愛媛県	流域における植林	西条市藻場づくり環境保全協議会	西条市福成寺	愛媛県養鶏 研究所敷地	2月	植樹
高知県	協働の森づくり	須崎市	須崎市押岡地区	私有林	2月	下刈り、間伐・伐 採、枝打ち



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者			作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月		
	ユスラウメ、シダレザ クラ、ハナモモ、イロ ハモミジ、ギンモクセ イ	80	13	採貝漁業 釣り	0.20	250	H20.10	浜田市	島根県、浜田市
	クヌギ、ドングリ	150	50	定置・建網、採藻漁業、採貝漁 業、 刺網・流し網、釣り	0.20	500	H16.3	林業者、島根県水 産振興協会	益田市沿岸漁業 水産振興協議会
				採貝漁業(シジミ、筒・籠・壺(うな ぎ・もくずがに、その他:(フナ・エビ				漁連・漁協・漁業者 グループ、その他	神西湖漁協
	もみじ	77	45	定置・建網(エビ類・クロダイ、藻類 養殖(ノリ) 採藻漁業(ワカメ) 刺網・流し網(サワラ・マナガツオ、 潜水(二枚貝類等)、壺(タコ)	0.35	50	H16.5	県・市町村・漁連・ 漁協・漁業者グ ループ・林業者・森 林組合	岡山県漁業士会
		98	74	定置・建網(エビ類、クロダイなど) 藻類養殖(ノリ) 採藻漁業(ワカメ) 刺網・流し網(サワラ、マナガツオ) 潜水(二枚貝類等)、壺(タコ)	0.25		H26.9	県・市町村・漁連・ 漁協・漁業者グ ループ・林業者・森 林組合	岡山県漁業士会
	ヤマザクラ、イタヤカ エデ、イロハモミジ	268	9	その他(底引き網)	1.50	1,500	H30.11	市町村	(公財)徳島森林 づくり推進機構
	クヌギ、ヤマザクラ	23	14	貝類養殖(カキ) 刺網・流し網(サワラ) その他(小型底曳網)	0.15	370	H25.1	漁業者グループ	JF香川県漁協青 壮年部連絡協議 会
	ヤマザクラ(50本)、 モミジ(20本)	35	5	小型底引き網	0.01	70		西条市藻場づくり 環境保全協議会	国・県・市
		45		延縄・潜水・船曳(機船船曳網)		10	H19.12		



令和元年度における「漁民の森づくり活動」

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
福岡県	有明海漁連下刈ボランティア	八女市役所矢部支所・福岡有明海漁業協同組合連合会	八女市矢部村北矢部高巣市有林	市町村林	7月	下刈り
	漁民の森づくり活動	福岡有明海漁業協同組合連合会	大分県玖珠町	市町村林	7月	下刈り
	有明海再生のためのボランティア活動	福岡有明海漁業協同組合連合会	八女市矢部村	私有林	7月	下刈り
	森と海の再生交流事業	森と海の再生交流事業実行委員会	福岡市早良区大字西	市町村林	11月	植樹
	第8回もりもりひろがる森林づくり	伊都国の森づくりの会、糸島市、西部ガス(株)	福岡県糸島市白糸	市町村林、私有林	2月	植樹
佐賀県	「泉水の森」づくり	JF佐賀有明海 南川副支所	佐賀県神埼市、佐賀市三瀬村	市町村林	10月	下刈り
	「水源の森」づくり	JF佐賀有明海 佐賀市支所	佐賀市富士町市川	市町村林	5月	下刈り、植樹
	海の森 下刈り作業	鹿島市と鹿島市環境衛生推進協議会の共催	鹿島市大字山浦字大谷	市町村林	7月	下刈り
	海の森 植樹祭	鹿島市と鹿島市環境衛生推進協議会の共催	鹿島市大字音成字柳坂	市町村林	3月	植樹
長崎県	藻場の保全流域における植林	賀谷地区藻場保全組織	賀谷地区	私有林		植樹



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者		作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月	
	ケヤキ、モミジ、ヤマザクラ	55	42	藻類養殖(ノリ)	0.94		H14.3	八女市
		42	41	藻類養殖(ノリ)	1.00		H15.3	森林組合
		42	41	藻類養殖(ノリ)	0.94		H14.3	八女市
	クヌギ、ヤマモミジ、 ヤマザクラ	153	24	定置・建網(マメアジ、ミスヰカ、グチ) 貝類養殖(カキ)・藻類養殖(ワカメ、ノリ) 採藻漁業(ワカメ) 刺網・流し網(ヒイラギ、ホウ、サワラ)釣り(ヤリイカ、サワラ、アジ、タイ) 延縄・潜水・船曳(車エビ、アワビ) 旋網(ヤス、ブリ)	0.20	800	H18.12	市町村
	サクラ、カエデ他	250	50	貝類養殖(カキ養殖)、 採貝漁業(ハマグリ)	1.00	1,000	H25.3	糸島市、伊都国の森づくりの会、西部ガス(株)
	クヌギ、コナラ、ヤマサクラなど	3	3	藻類養殖(海苔)			H14.5	漁協、森林組合
	ヤマザクラ、イロハモミジ	37	36	藻類養殖(海苔)	0.45		H13.6	漁協、森林組合
	モミジ、クヌギ、ケヤキ	173	69	藻類養殖(海苔)	1.00	1,200	H7.3	鹿島市、鹿島市環境衛生推進協議会
	モミジ、ケヤキ	200	60	藻類養殖(海苔)	0.50	1,200	H7.3	鹿島市、鹿島市環境衛生推進協議会
	ヤブツバキ、クヌギ、マテバシイ			採藻漁業 採貝漁業 刺網・流し網	0.08	50	H2.3.15	漁業者グループ



令和元年度における「漁民の森づくり活動」

都道府県名	活動名	主催者	活動実施地区	活動林地	実施時期	作業内容
熊本県	漁民の森づくり活動 (下刈り、植樹)	NPO21くもと金峰・有明環境会議	熊本市西区河内町	民有林	7月、3月	下刈り、植樹
	漁民の森づくり活動 (下刈り)	天明水の会	上益城郡山都町内	国有林	8月	下刈り、蔓切り、 枝打ち
	漁民の森づくり活動 (下刈り)	緑川漁業協同組合	上益城郡清和村、阿蘇郡西原村	国有林 市町村林	10月～11月 の内5日	下刈り
	漁民の森づくり活動 (下刈り、植樹、害虫駆除)	御所浦町漁業協同組合	天草市御所浦町内	市管理漁港 用地	7月～3月 の内10日	下刈り、植樹
	漁民の森づくり活動 (下刈り)	天草漁業協同組合	天草市本渡町、天草郡苓北町	市町村林	9月、2月	下刈り
大分県	漁民の森づくり活動	別府湾水産振興協議会	大分県速見郡日出町大字平道	市町村林		下刈り
		中津干潟を元気にする会	大分県中津市耶馬溪町大字山移 耶馬溪アクアパーク	市町村林	11月	植樹
宮崎県	漁民の森 下刈り活動	日南市漁協青壮年部	日南市大字酒谷地区	国有林	12月	下刈り、間伐・伐採
	海のふるさと漁民の森	南郷三組合共同漁業権管理委員会	日南市南郷町大牟礼地区	国有林	7月	下刈り
計						

うち北海道



実施状況(アンケート調査結果)

管理作業又は植樹種		参加者		作業面積	作業本数	活動開始	管理者	経費負担者
針葉樹(本数)	落葉樹、広葉樹など (本数)	(名)	うち漁業者、 漁協	主な漁業種類	(ha)	(本)	年月	
	サクラ、ヤマモミジ、 ヤマモモ	800	300	藻類養殖(ワ 採貝漁業(アサリ 釣り(一本釣り)	3.00		H13	漁連・漁協・漁業者 グループ、NPO21く まもと金峰・有明環 境会議
	ケヤキ、ヤマザクラ、 クヌギ、コナラ、モミ ジ	130	20	釣り(一本釣り)	3.00		H13	漁連・漁協・漁業者 グループ
	コナラ、ケヤキ、ヤマザクラ、ヤ マモミジ	140	100	魚類養殖(ヤマメ、ニジマス 釣り(一本釣り)	6.71		H15	漁連・漁協・漁業者 グループ
スーパー松		30	30	釣り(一本釣り)	1.10		H18	漁連・漁協・漁業者 グループ
スーパー黒松	ヤマザクラ	20	20	釣り(一本釣り)	0.50		H18	漁連・漁協・漁業者 グループ
		27	22	定置(アジ類等) 採藻漁業(ヒシキ等) 流し網(サワ等) 船曳(イワシ等) その他(小型機船底びき網漁業)	0.40		H13.11	森林組合、別府湾 水産振興協議会
	100本	15	9	その他(底びき 6人)	0.25	100	H28.11	中津市・中津干潟 を元気にする会
イヌマキ600 本	ヤマザクラ1,600本、 ケヤキ2,300本、クス 1,500本	17		定置・建網(イセエビ、アジ他) 採藻漁業(キリンサイ) 採貝漁業(ウニ、サザエ他) 刺し網・流し網 釣り 延縄・潜水・船曳 筒・籠・壺	2.26	6,000	H8	漁連・漁協・漁業者 グループ
	ヤマザクラ	9		定置・建網(イセエビ、アオリイカ) 釣り(メジナ、アジ) 延縄・潜水・船曳(アマダイ、キダイ)	0.50		H9.3	市町村、漁連・漁 協・漁業者グルー プ
		10,944	4,244		71.11	48,878		
		5,233	2,217		18.68	29,381		



